

- 定理 19.1 で「 $f: \Omega \rightarrow \mathbb{C}$ は**正則** (あるいは、ある 1 点 c を除いた $\Omega \setminus \{c\}$ で正則で、 Ω で連続)」と書いたけれど、証明は f が Ω 全体で正則な場合しか書いていなくて、例外点 c の存在を許す場合はずっと後で系 19.7 として書いてある。仕方がないので、5 ページの先頭に

注意追加 f が微分可能でない点 c の存在を許す場合の証明は後回しにして (系 19.7)、まず f が Ω で正則な場合の証明を行う。

と書き足した。